

22.12.03

日本国特許庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

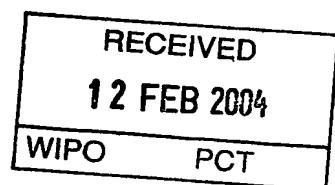
This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日 2002年12月27日
Date of Application:

出願番号 特願2002-381253
Application Number:

[ST. 10/C]: [JP2002-381253]

出願人
Applicant(s): 松下電器産業株式会社
梅田真空包装株式会社

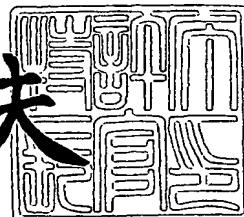


PRIORITY DOCUMENT
SUBMITTED OR TRANSMITTED IN
COMPLIANCE WITH
RULE 17.1(a) OR (b)

2004年 1月30日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

今井康夫



【書類名】 特許願
【整理番号】 2210040010
【あて先】 特許庁長官殿
【国際特許分類】 B65D 75/36
H01M 2/10

【発明者】

【住所又は居所】 大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式
会社内

【氏名】 熊倉 勝彦

【発明者】

【住所又は居所】 大阪府東大阪市御厨北ノ町67番地の1 梅田真空包装
株式会社内

【氏名】 由上 芳一

【発明者】

【住所又は居所】 大阪府東大阪市御厨北ノ町67番地の1 梅田真空包装
株式会社内

【氏名】 神田 将

【特許出願人】

【識別番号】 000005821

【氏名又は名称】 松下電器産業株式会社

【特許出願人】

【識別番号】 591016345

【氏名又は名称】 梅田真空包装株式会社

【代理人】

【識別番号】 100072431

【弁理士】

【氏名又は名称】 石井 和郎

【選任した代理人】

【識別番号】 100117972

【弁理士】

【氏名又は名称】 河崎 真一

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 066936

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 0114078

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 商品パッケージ

【特許請求の範囲】

【請求項1】 吊り下げ用孔を有する吊り下げ部材と、物品を保持する保持体を具備する商品パッケージであって、

前記保持体が、前記物品を収納するための第一のくぼみおよび第二のくぼみで構成される収納部、前記第一のくぼみおよび第二のくぼみを閉じて前記収納部を形成する第一のつば状部および第二のつば状部、ならびに前記第一のくぼみと第二のくぼみを連結し、かつ重ね合わせるように折り曲げ可能な折り曲げ部を有し、

前記吊り下げ部が、前記つば状部および前記くぼみで挟まれ、

前記保持体が、前記第一のくぼみと第一のつば状部の上部とを切断する第一の切断部、および前記第二のくぼみと第二のつば状部の上部とを切断する第二の切断部を有し、

前記吊り下げ部が、その上部と下部とを切断する第三の切断部を有し、

前記第一、第二および第三の切断部が互いに異なる高さに設けられていることを特徴とする商品パッケージ。

【請求項2】 前記収納部が、前記吊り下げ部材の吊り下げ用孔を含む面の両側に形成されていることを特徴とする請求項1記載の商品パッケージ。

【請求項3】 前記第一の切断部および第二の切断部の一部が、切断後に前記保持体が開閉用つまみ部を形成する形状を有することを特徴とする請求項1記載の商品パッケージ。

【請求項4】 前記第一のつば状部および第二のつば状部で吊り下げ部を挟む部分において、前記つば状部の一方が潰し用凸部、他方が前記凸部と嵌合する凹部を有し、前記吊り下げ部が、前記凸部に対応する孔を有し、前記孔に前記潰し用凸部を通し、さらに前記潰し用凸部に前記凹部を嵌合した状態で潰し用凸部を押し潰し、潰し用凸部が外方に広がるように変形して形成される係止部を前記孔および凹部に係止することにより前記吊り下げ部材を保持体に固定することを特徴とする請求項1記載の商品パッケージ。

【請求項 5】 前記第一のつば状部および第二のつば状部の一方が凹部、他方が前記凹部に係合する凸部を有することを特徴とする請求項1記載の商品パッケージ。

【請求項 6】 前記保持体の側面端縁部に折り返し部を有することを特徴とする請求項1記載の商品パッケージ。

【請求項 7】 前記第一のくぼみおよび第二のくぼみが、その内側の左右側面に凹部を有し、前記吊り下げ部材が前記凹部に係合する凸部を有することを特徴とする請求項1記載の商品パッケージ。

【請求項 8】 前記折り曲げ部が、前記第一のくぼみと第二のくぼみを連結する底面部、および前記底面部と前記くぼみとの境界に設けた前記くぼみを重ね合わせるように折り曲げ可能な一对の折れ線部からなることを特徴とする請求項1記載の商品パッケージ。

【請求項 9】 前記底面部により前記収納部を形成した保持体を垂直に立てることが可能であることを特徴とする請求項8記載の商品パッケージ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、電池等の物品を収容して販売などのために展示する商品パッケージに関する。

【0002】

【従来の技術】

電池などを収納する商品パッケージとして、店頭での展示効果や低コストなどの理由によりブリストラックが広く用いられている。ブリストラックでは、透明な合成樹脂シートに熱形成などでくぼみを形成し、このくぼみに物品を収容している。厚紙などの台紙にくぼみの周縁を接着することにより、くぼみの開口部を塞いで物品を保持している。

【0003】

商品パッケージとしては、開封後も、保管用の容器として利用することができるものや、再利用や廃棄の処理が容易なものが提案されている（例えば、特許文

献1)。

【0004】

【特許文献1】

米国特許第624444号

【0005】

図12に、従来の商品パッケージの一例として電池パッケージの斜視図を示す。

従来の電池パッケージは、複数の電池50を収容する電池収納部51と、吊り下げ用の穴53aを有する台紙53とから構成されている。そして、吊り下げ時には、スリットで形成した台紙下部54の肩部54aを、電池収納部51を閉じる蓋部52に形成された肩部52aにかけることにより、電池収納部51が支えられる。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】

しかし、台紙の肩部のみで電池収納部全体を支えるため、商品パッケージ自体の強度に問題があった。また、台紙の片側に電池が収納されるため、多数の電池を収納して吊り下げた際に商品パッケージのバランスが悪くなるという問題があった。

【0007】

本発明では、上述のような従来の問題を解決するために、吊り下げ時のバランスを良好に保つことができ、且つ十分な強度を有する商品パッケージを提供することを目的とする。

【0008】

【課題を解決するための手段】

本発明の商品パッケージは、吊り下げ用孔を有する吊り下げ部材と、物品を保持する保持体を具備する商品パッケージであって、

前記保持体が、前記物品を収納するための第一のくぼみおよび第二のくぼみで構成される収納部、前記第一のくぼみおよび第二のくぼみを閉じて前記収納部を形成する第一のつば状部および第二のつば状部、ならびに前記第一のくぼみと第

二のくぼみを連結し、かつ重ね合わせるように折り曲げ可能な折り曲げ部を有し

前記吊り下げ部が、前記つば状部および前記くぼみで挟まれ、

前記保持体が前記第一のくぼみと第一のつば状部の上部とを切断する第一の切断部、および前記第二のくぼみと第二のつば状部の上部とを切断する第二の切断部を有し、

前記吊り下げ部が、その上部と下部とを切断する第三の切断部を有し、

前記第一、第二および第三の切断部が互いに異なる高さに設けられていることを特徴とする。

【0009】

前記収納部が、前記吊り下げ部材の吊り下げ用孔を含む面の両側に形成されていることが好ましい。

前記第一の切断部および第二の切断部の一部が、切断後に前記保持体が開閉用つまみ部を形成する形状を有することが好ましい。

【0010】

前記第一のつば状部および第二のつば状部で吊り下げ部を挟む部分において、前記つば状部の一方が潰し用凸部、他方が前記凸部と嵌合する凹部を有し、前記吊り下げ部が、前記凸部に対応する孔を有し、前記孔に前記潰し用凸部を通し、さらに前記潰し用凸部に前記凹部を嵌合した状態で潰し用凸部を押し潰し、潰し用凸部が外方に広がるように変形して形成される係止部を前記孔および凹部に係止することにより前記吊り下げ部材を保持体に固定することが好ましい。

【0011】

前記第一のつば状部および第二のつば状部の一方が凹部、他方が前記凹部に係合する凸部を有することが好ましい。

前記保持体の側面端縁部に折り返し部を有することが好ましい。

前記第一のくぼみおよび第二のくぼみが、その内側の左右側面に凹部を有し、前記吊り下げ部材が前記凹部に係合する凸部を有することが好ましい。

【0012】

前記折り曲げ部が、前記第一のくぼみと第二のくぼみを連結する底面部、およ

び前記底面部と前記くぼみとの境界に設けた前記くぼみを重ね合わせるように折り曲げ可能な一对の折れ線部からなることが好ましい。

前記底面部により前記収納部を形成した保持体を垂直に立てることが可能であることが好ましい。

【0013】

【発明の実施の形態】

以下、本発明の商品パッケージの実施の形態の一例として複数の電池を収容した電池パッケージについて説明する。

【0014】

実施の形態1

円筒型電池を4個収納する電池パッケージについて以下に説明する。

図1は本発明の円筒型電池1を4個並列に並べてシュリンクパックした包装部1aからなる単位パック2を収納する電池パッケージの正面図、図2は同電池パッケージの側面図、図3は同電池パッケージの分解斜視図である。

【0015】

本発明の電池パッケージは、吊り下げ用孔4を有する吊り下げ部材3と、単位パック2を収納する第一のくぼみ11、および第二のくぼみ12で構成される収納部、前記くぼみ11、12を閉じて前記収納部を形成する第一のつば状部9および第二のつば状部10、ならびに前記くぼみ11、12を連結しつつ重ね合わせるように折り曲げ可能な折り曲げ部16を有する保持体8とから構成される。

【0016】

前記収納部は、図2に示すように、電池パッケージの吊り下げ時に前記単位パック2の重量が前記吊り下げ部材3の上部3aの両側にバランス良くかかるよう、第一のくぼみ11および第二のくぼみ12により前記吊り下げ部材3の上部3aの両側に形成されている。これにより、吊り下げ時の電池パッケージのバランスを良好に保つことができる。

【0017】

前記保持体8は、第一のつば状部9と第一のくぼみ11を切断する破断線からなる第一の切断部20、および第二のつば状部10と第二のくぼみ12を切断す

る破断線からなる第二の切断部21を有する。また、前記吊り下げ部材3の上部3aには、その下部3cと分離するための破断線からなる第三の切断部6を有する。そして、図1および開封後の電池パッケージを示す図8のように前記吊り下げ部3を挟んで保持体8を折り畳み、電池パッケージを構成した際に、前記第一、二および三の切断部6、20、21は、互いに異なる高さに設けられている。このように切断部を段違いに設けることにより、展示時の電池パッケージの強度向上させることができる。

【0018】

前記吊り下げ部材3は、その上部3aが前記第一のつば状部9と第二のつば状部10で挟まれ、その下部3cが前記第一のくぼみ11と第二のくぼみ12で挟まれている。また、前記吊り下げ部材3は、前記上部3aと下部3cとの間にくぼみ12の深さと同様の段差を形成する段差部3bを有し、前記下部3cは、前記くぼみ12の内面に沿って配される。すなわち、前記吊り下げ部の下部3cは、前記単位パック2とともに前記収納部に収納される。

【0019】

第一のつば状部9と第二のつば状部10で吊り下げ部3の上部3aを挟む部分において、前記第一のつば状部9は一対の潰し用凸部14aを有し、第二のつば状部10は、前記潰し用凸部14aに嵌合する一対の凹部14bを有し、前記吊り下げ部3の上部3aが、前記潰し用凸部14aに対応する形状寸法の一対の孔5を有する。

【0020】

吊り下げ部3を保持体8に固定する際には、例えば、前記孔5に前記潰し用凸部14aを通し、さらに前記潰し用凸部14aに凹部14bを嵌合した図4に示す状態で上方より潰し用凸部14aを凹部14bとともに押し潰す。そして、図5に示すように、前記潰し用凸部14aが外方に広がるように変形して係止部15aが形成される。また、凹部14bは、係止部15aを覆う凹部15bに変形する。このとき、係止部15aは、第二のつば状部10と吊り下げ部3の上部3aを係止する。このような係止部15aが形成されるため、前記吊り下げ部材3が保持体8に強固に固定されている。

【0021】

上述の方法により、電池パッケージの外観を良好に保ち、かつ強固に固定状態を維持することができ、手間やコストがかからないで済む。上述以外の固定方法として熱溶着等により一体化しても構わない。

【0022】

電池パッケージを開封する時は、吊り下げ部材3の上部3aと保持体8とを両手で持ちながら切断部6、20、21を一度に切り離す。そして、開封しやすいように切断部20、21により形成された一対の開閉用つまみ部20a、21aを指でつまんで、前記保持体8を両側（図8における前後方向）に広げることにより電池1を取り出すことができる。

また、図8のような開封した後の電池パッケージにおける保持体8は、電池1を保管するための容器として使用することができる。

【0023】

図3および図7に示すように、前記吊り下げ部材3の下部3cは、その両側に吊り下げ部材3が保持体から外れないように第二のくぼみ12の両側面に設けられた複数の凸部12a、12bの間に係合する凸部7a、7bを有する。

【0024】

図3および図6に示すように、前記第一のくぼみ11および第二のくぼみ12は、その両側面に電池1を安定して収納するための電池の形状に対応した凸部11a、11b、12a、12bを有する。

また、前記保持体8は、その側面端縁部に折り返し部22を有する。これにより、電池パッケージの強度が向上する。

【0025】

前記第一のつば状部9は凹部9aを有し、前記第二のつば状部10が前記凹部9aに係合する凸部10aを有する。また、前記一対の凸部10aは、その外側にそれぞれ溝部10bを有し、前記凹部9aは、その左右端部に前記溝部10bにそれぞれ嵌合する凸部9bを有する。保持体8を折り畳む際には、前記凸部10aと凹部9aおよび前記凸部9bと溝部10bを確実に嵌合させることにより、保持体8が容器として変形しないようにできる。また、電池パッケージを開封

した後も、保持体8は開閉自在であり、かつ安定した収納性を有する保管用の容器として用いることができる。

【0026】

図2、図3および図6に示すように、前記折り曲げ部16が、前記第一のくぼみ11および第二のくぼみ12を連結しかつ前記くぼみ11、12により形成される収納部の底部を構成する第三のくぼみ13を有する底面部17、および前記底面部17と前記くぼみ11、12との境界に設けた前記くぼみ11、12を重ね合わせるように折り曲げ可能な一对の折れ線部18、19から構成される。

これにより、この底面部17の底面を設置面として、電池パッケージを垂直に立てた状態で展示することができる。

【0027】

上述の吊り下げ部材3および保持体8には、ポリエチレンテレフタレート等の樹脂を用いることができる。これらが同じ材料の場合には、廃品回収等の処理を容易に行うことができる。また、吊り下げ部材3には、これ以外に紙等を用いても構わない。

【0028】

実施の形態2

円筒型電池を8個収納する電池パッケージについて以下に説明する。

図9は本発明の円筒型電池4個を並列に並べてシュリンクパックした包装部1aからなる単位パック2を2個収納する電池パッケージの正面図、図10は同電池パッケージの側面図、図11は同電池パッケージの分解斜視図である。

【0029】

図9～図11に示すように、本実施の形態の電池パッケージは、吊り下げ時に2個の単位パック2の重量が吊り下げ部材23の上部23aの両側にバランス良くかかるように収納部が第一のくぼみ31および第二のくぼみ32により吊り下げ部材23の上部23aの両側に形成されている以外は、実施の形態1と同様の構成を有している。このように多数の電池を収納する場合においても吊り下げ時の電池パッケージのバランスを良好に保つことができる。

【0030】

図10に示すように、前記保持体28に収納される2個の単位パック2は、電池1が互い違いになるようにずらして収納されている。これにより、安定した収納が可能となり、収納に必要なスペースを小さくできる。

【0031】

【発明の効果】

以上のように本発明によれば、吊り下げ時のバランスを良好に保つことができ、且つ十分な強度を有する商品パッケージを提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

実施の形態1の電池パッケージの正面図である。

【図2】

同電池パッケージの側面図である。

【図3】

同電池パッケージの分解斜視図である。

【図4】

吊り下げ部材と保持体を固定する前の潰し用凸部付近を示す概略縦断面図である。

【図5】

吊り下げ部材と保持体を固定した後の係止部付近を示す概略縦断面図である。

【図6】

同電池パッケージにおける保持体の正面図である。

【図7】

同電池パッケージにおける吊り下げ部材の正面図である。

【図8】

実施の形態1の開封後の電池パッケージの正面図である。

【図9】

実施の形態2の電池パッケージの正面図である。

【図10】

同電池パッケージの側面図である。

【図11】

同電池パッケージの分解斜視図である。

【図12】

従来の電池パッケージの斜視図である。

【符号の説明】

- 1 円筒型電池
- 1 a 包装部
- 2 単位パック
- 3、23 吊り下げ部材
- 3 a、23 a 上部
- 3 b、23 b 段差部
- 3 c、23 c 下部
- 4、24 吊り下げ用孔
- 5、25 孔
- 6、26 第三の切断部
- 20、40 第一の切断部
- 21、41 第二の切断部
- 7 a、7 b、27 a、27 b 凸部
- 8、28 保持体
- 9、29 第一のつば状部
- 10、30 第二のつば状部
- 9 a、29 a 凹部
- 10 a、30 a 凸部
- 11、31 第一のくぼみ
- 12、32 第二のくぼみ
- 13、33 第三のくぼみ
- 14 a、34 a 潰し用凸部
- 14 b、15 b、34 b、35 b 凹部
- 15 a、35 a 係止部

16、36 折り曲げ部

17、37 底面部

18、19、38、39 折れ線部

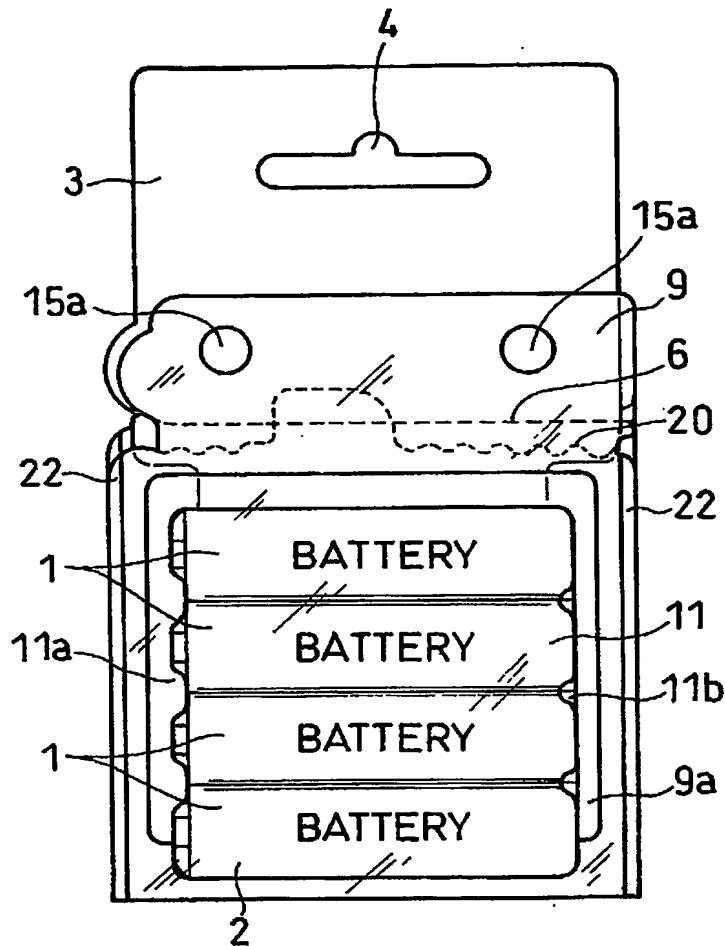
20a、21a、40a、41a 開閉用つまみ部

22、42 折り返し部

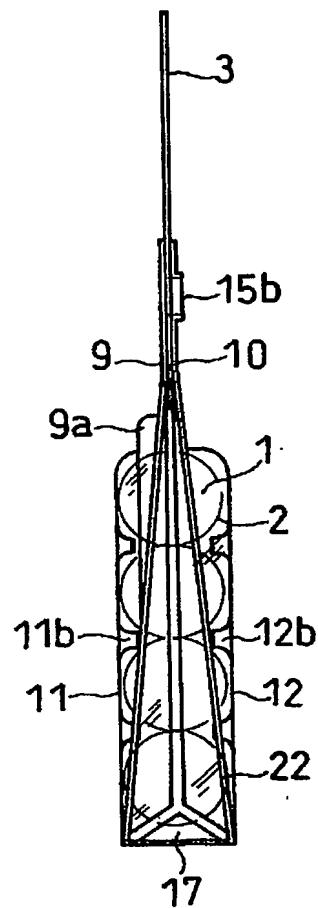
【書類名】

四面

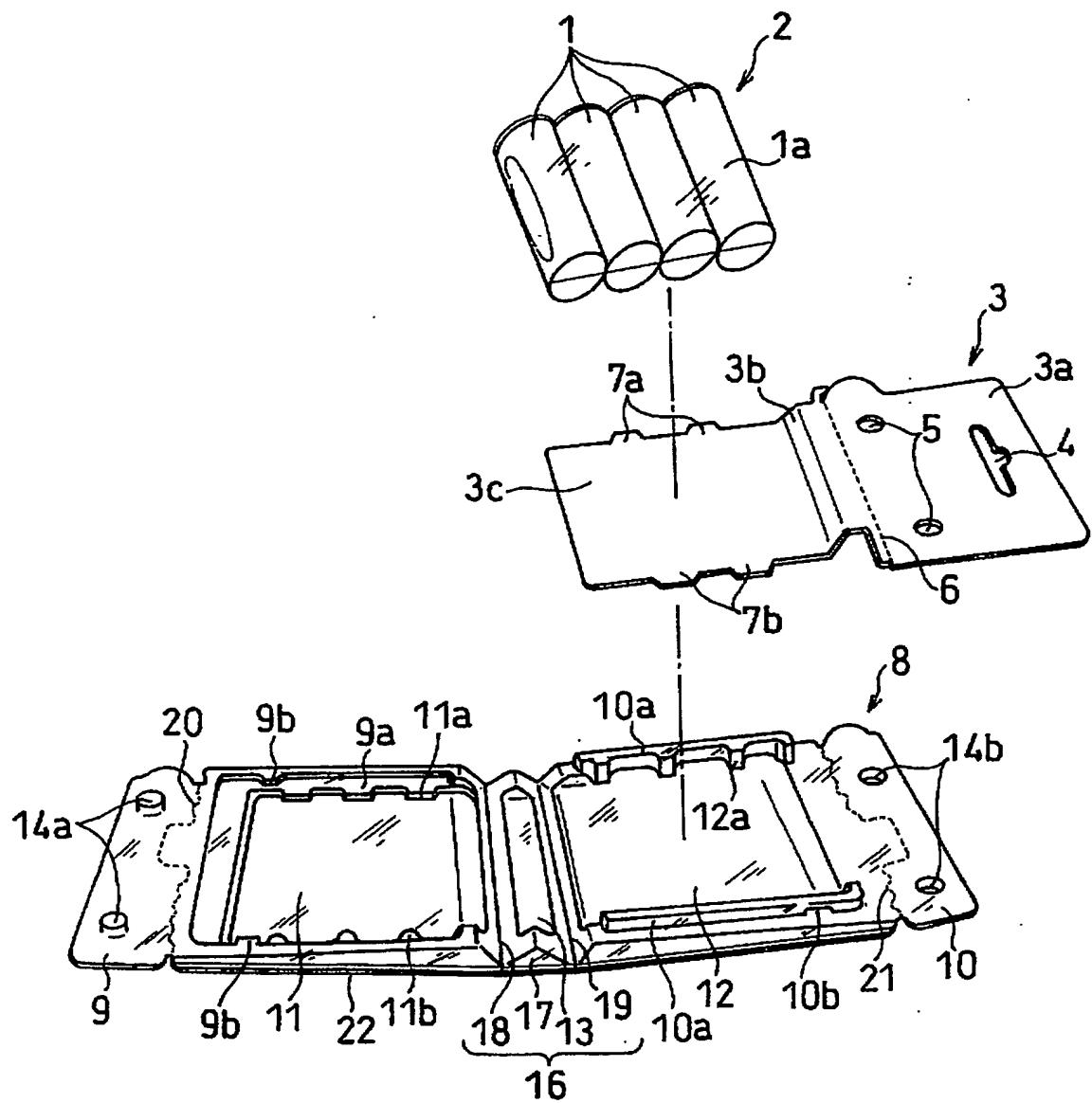
【圖 1】



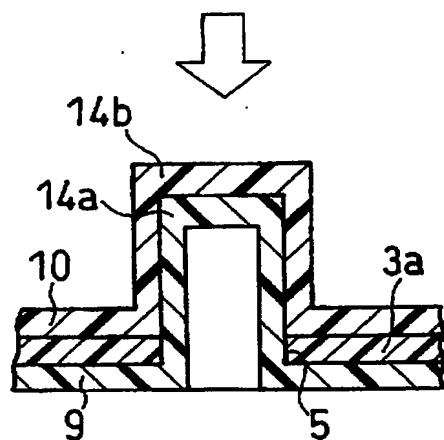
【図2】



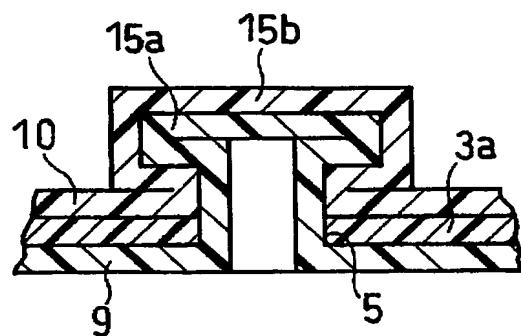
【図3】



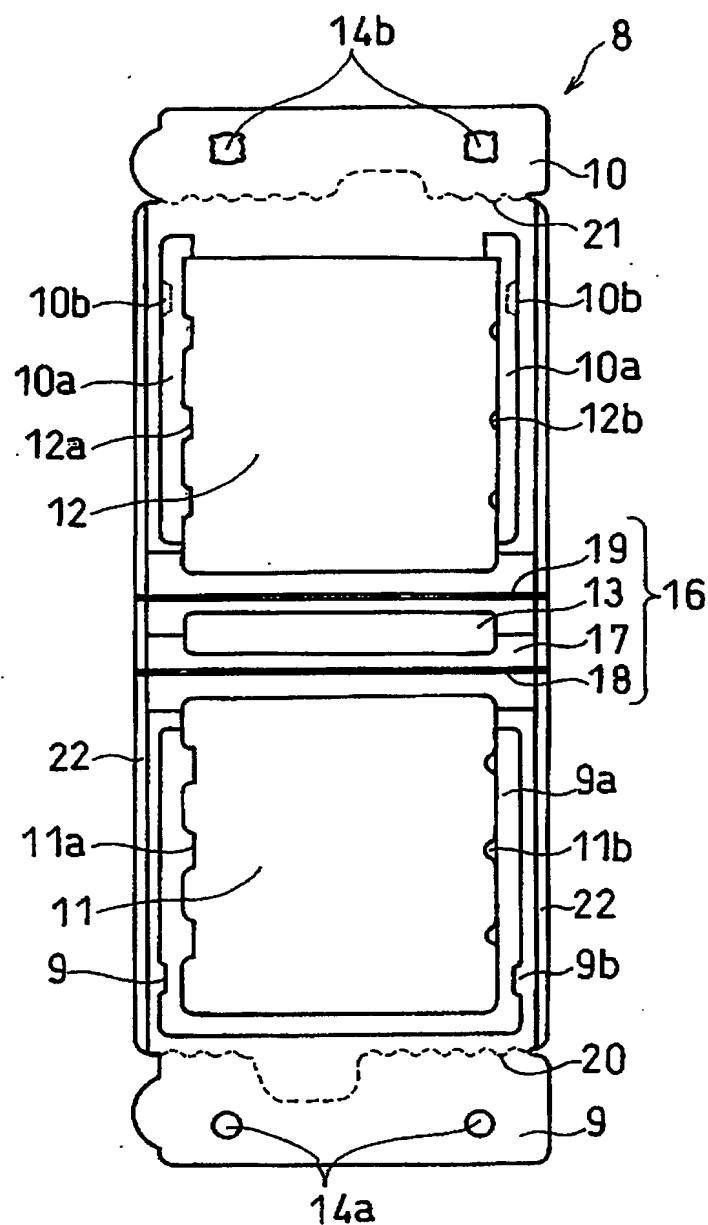
【図4】



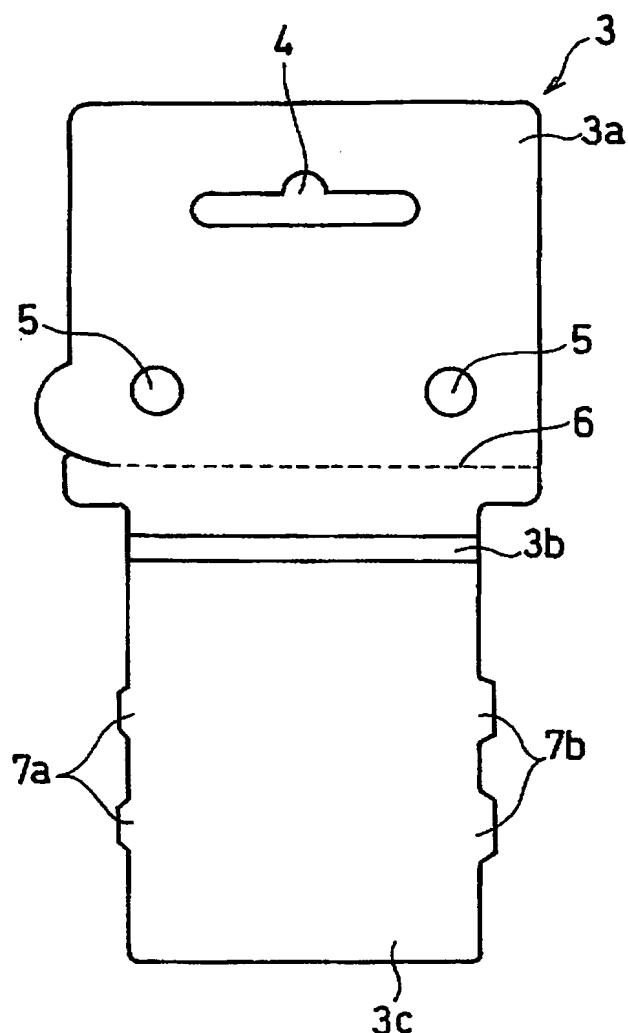
【図5】



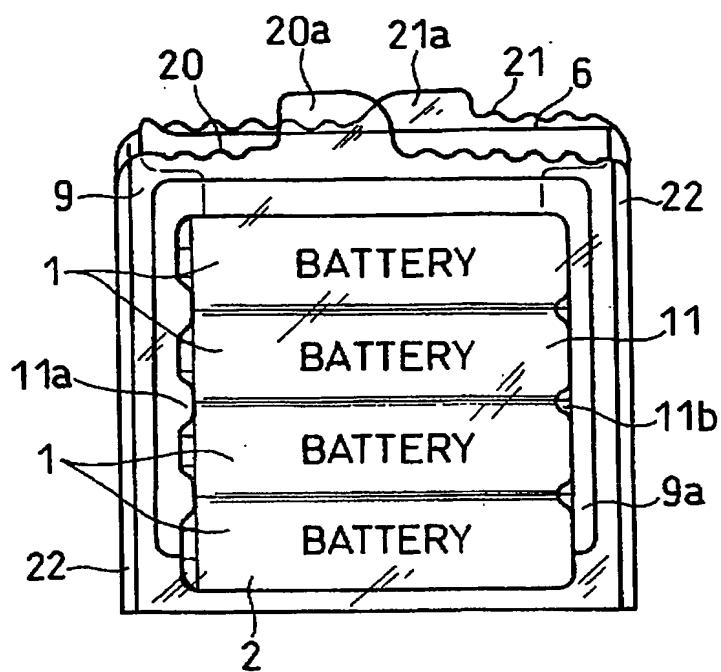
【図6】



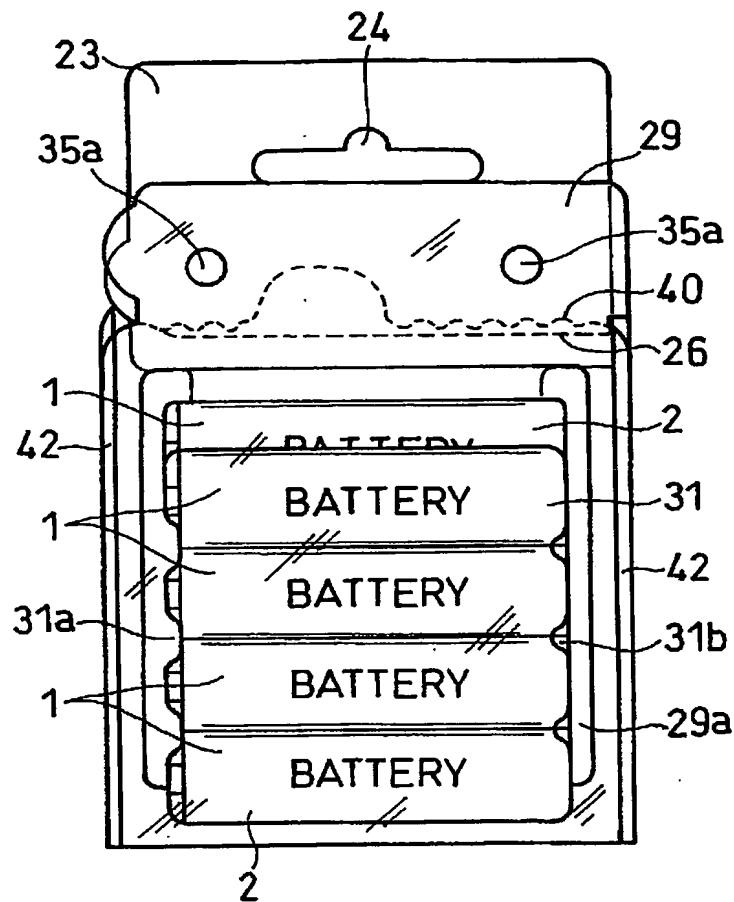
【図7】



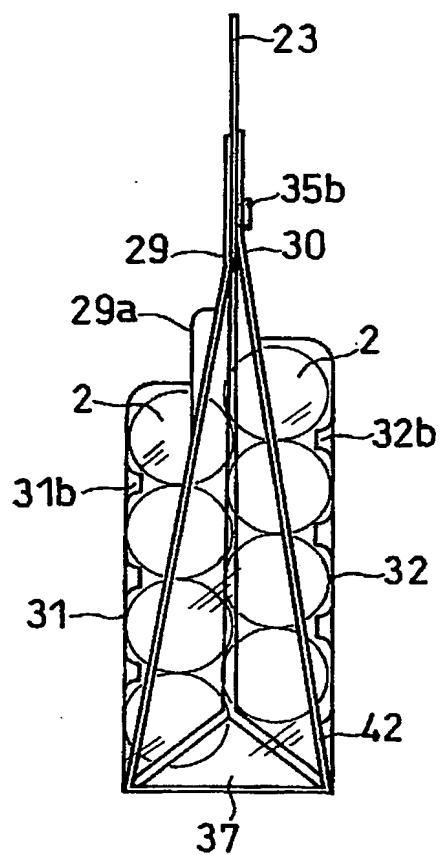
【図8】



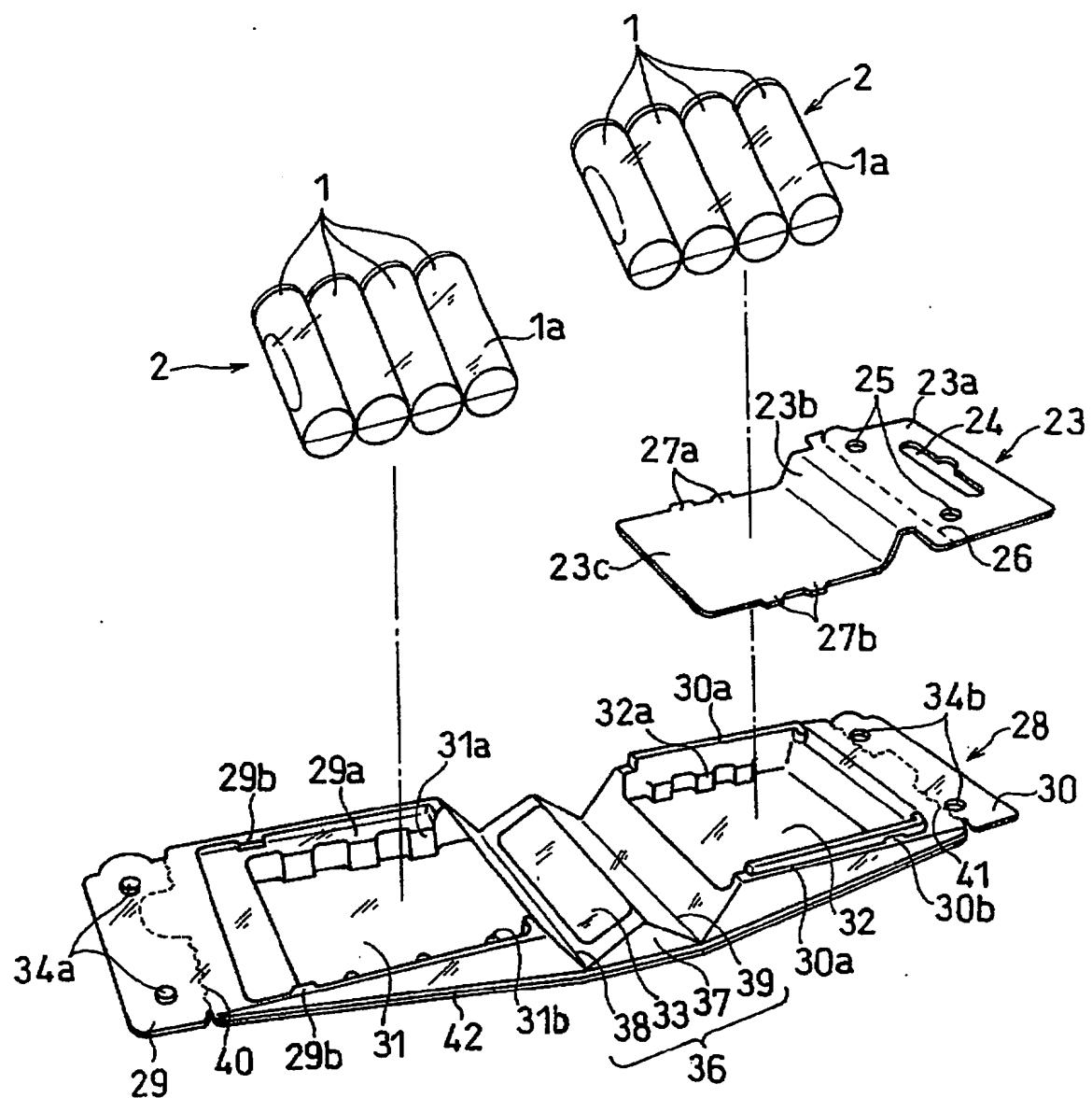
【図9】



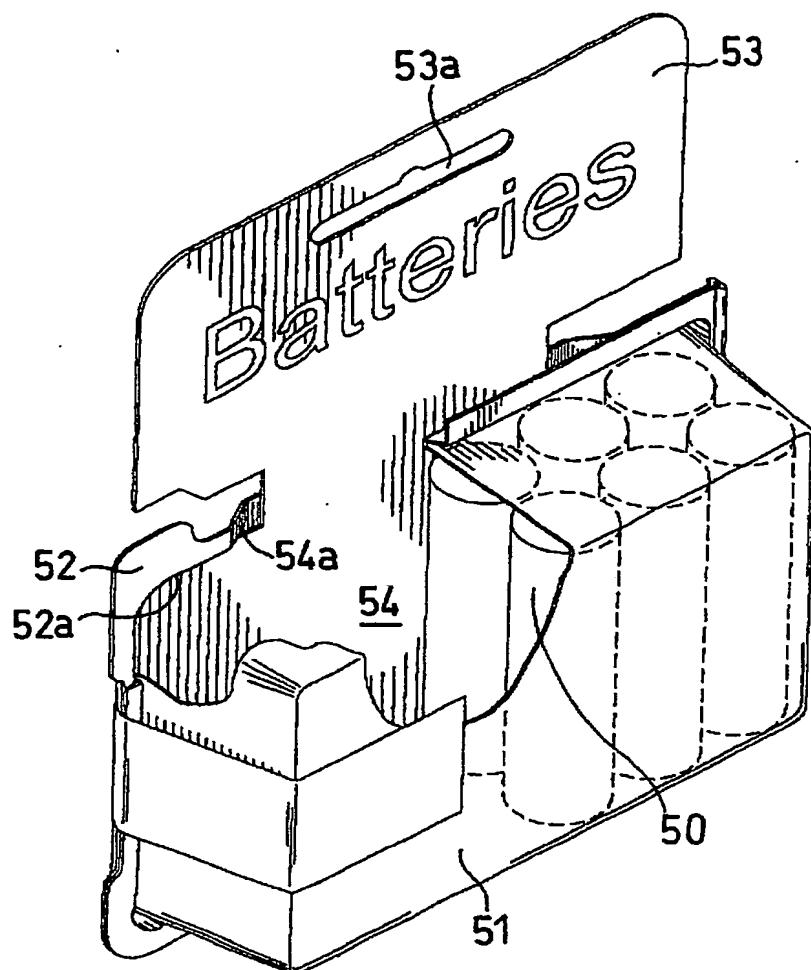
【図10】



【図11】



【図12】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 吊り下げた際のバランスを良好に保つことができ、且つ十分な強度を有する商品パッケージを提供する。

【解決手段】 吊り下げ用孔を有する吊り下げ部材と、物品を保持する保持体を具備する商品パッケージであって、

前記保持体が、前記第一のくぼみと第一のつば状部の上部とを切断する第一の切断部、および前記第二のくぼみと第二のつば状部の上部とを切断する第二の切断部を有し、

前記吊り下げ部が、その上部と下部とを切断する第三の切断部を有し、

前記第一、第二および第三の切断部が互いに異なる高さに設けられている。

【選択図】 図1

認定・付加情報

特許出願の番号	特願2002-381253
受付番号	50201990115
書類名	特許願
担当官	第四担当上席 0093
作成日	平成15年 1月 6日

<認定情報・付加情報>

【提出日】	平成14年12月27日
-------	-------------

次頁無

出証特2004-3004390

特願 2002-381253

出願人履歴情報

識別番号

[000005821]

1. 変更年月日 1990年 8月28日

[変更理由]

新規登録
大阪府門真市大字門真1006番地
松下電器産業株式会社

住所
氏名

特願 2002-381253

出願人履歴情報

識別番号

[591016345]

1. 変更年月日

[変更理由]

住 所

氏 名

1999年11月18日

住所変更

大阪府東大阪市御厨3丁目9番28号

梅田真空包装株式会社